



久工大ニュース

第20号



発行日 平成 29 年 7 月

久留米工業大学 入試課

久留米市上津町 2228-66

TEL (0942)22-2345 (代表)

FAX (0942)21-8770

<http://www.kurume-it.ac.jp>

久工大が目指す大学像

久留米工業大学は、「一人一人の学生の才能を伸ばし、グローバルな視点を持つものづくり産業人を育成し、地域の産業界から頼りにされる大学」を目指します。

そのため、学部課程で総合的な教育改革を進めています。教育改革で目標としているのは、本学がものづくりにおける地域産業の核となるという考え方です。

本学で学ぶ皆さんは、ものづくりを通して世界的な活動の場を求め、自分の中に眠っているかもしれないあらゆる可能性を引き出してもらいたいと思います。

本学には学生表彰という「学業、課外活動、社会活動において特に顕著な業績を挙げ他の学生の範となった学生」を表彰する制度があります。チャレンジしてください。

2018 年 4 月より、新たに航空機、宇宙機の設計・製造や航空整備士を目指す先端交通・航空宇宙コースを立ち上げます。さらなる飛躍を期待しているところです。



学長 今泉 勝己

第 93 回日本学生選手権水泳競技大会出場

情報ネットワーク工学科 1 年 長松 宝 (ルーテル学院高等学校卒)

私は 5 月 14 日に行われた九州春季水泳記録会において、日本学生選手権 100 メートル背泳ぎの標準記録を突破することができました。

大学に入学して 1 ヶ月で目標タイムを突破することができたのは古賀監督をはじめ、支えてくださった先輩方や、応援してくれた家族、友人のおかげです。

やっと、高校時達成できなかった「全国大会出場」という目標を達成することができました。泳ぎ終わりタイムを見たときはこれまでの努力が報われた気がしました。

これからも次の目標に向かってがんばります。



第 87 回全日本大学総合卓球選手権大会出場

情報ネットワーク工学科 2 年 中村 寛志 (祐誠高等学校卒)

私たち卓球部は 4 年生 2 名、3 年生 2 名、2 年生 1 名、1 年生 3 名の合計 8 名という少ない人数で、「全日本大学総合卓球選手権に出場する」という目標を掲げ、毎日体育館 1 階で練習に励んでいます。

第 68 回全九州学生春季卓球選手権大会団体戦で 4 位に入賞し、今年も全日本大学総合卓球選手権に出場することが決まりました！今年の会場は北海道で遠く離れた地での試合となりますが、日ごろの練習の成果を発揮していきますので、卓球部の応援よろしくお願いします！！



キャンパス見学会 (事前予約制)

久留米工業大学では、「実際に大学を見てみたい」という高校生や保護者の皆さんのためにキャンパス見学会を実施します。施設見学・学科説明・入試概要・奨学金等、まるごと「久留米工業大学」をご覧ください、体験してください。「学食無料体験」も実施いたします！

今年度開催日 第 3 回 平成 29 年 9 月 24 日 (日) 10:30 ~ 13:00
第 4 回 平成 29 年 11 月 12 日 (日) 10:30 ~ 13:00
第 5 回 平成 29 年 12 月 10 日 (日) 10:30 ~ 13:00

申し込み方法 Web・メール・FAX のいずれかです。詳しくは Web をご覧ください。

<http://www.kurume-it.ac.jp/jukensei/open/tour.html>

入試のお知らせ

久留米工業大学ではインターネットによる出願を受け付けます。インターネットの環境さえあれば、入学試験要項 (願書) を取り寄せなくても、その場ですぐに出願できます。詳しくは、右の QR コードで Web にアクセスしてください。

※願書は不要ですが、調査書など必要書類を郵送していただく必要があります。



H30 年度から先端交通・航空宇宙コースがはじまります。

交通機械工学科長 教授 東 大輔

交通機械工学科の先端交通機械コースが、航空宇宙関連のカリキュラムを強化して「先端交通・航空宇宙コース」に発展的に名称変更します。従来からある航空宇宙工学や航空流体力学という航空関連科目に加え、さらに飛行力学や航空機設計工学などの航空機の開発を学ぶ科目、ロケット工学などの宇宙機の開発を学ぶ科目を充実させました。さらに、大手エアラインへの就職を目指す航空機整備領域 (*) の科目も新たに強化しています*。航空宇宙機の開発から製造、整備の領域まで幅広い就職先が期待でき、空に憧れる皆さんの夢の実現を経験豊富な教授陣が全力でサポートします。

* 在学中の資格取得を目指すものではありません。

先端交通・航空宇宙コース

1. 先端交通機械領域

- ・自動運転、人工知能、対話システムなどのインテリジェント・モビリティ技術
- ・スポーツカーやレース車両の先端技術

◇研究テーマ例

- ・介助者なしで移動できる自動運転福祉車両の開発
- ・高速コーナリングを可能にするレース用空力デバイスの研究

2. 航空宇宙開発領域

- ・航空機や宇宙機の設計開発と製造技術

◇研究テーマ例

- ・宇宙往還機の離着陸性能を高める空力デバイス
- ・ハイブリッドロケット
- ・航空機ガスタービン など

3. 航空機整備領域

- ・航空機を安全に運航する機体整備技術 (*: 資格取得には実務経験が別途必要)

地域活性化へ大学と自治体が連携

地域連携センター長 教授 白石 元

久留米工業大学が八女市と連携して進めている農業機械などの研究開発の中間発表が同市でありました。

高齢化が進む農業分野の課題に本学の学生が授業の一環として新たな機器の開発を通して、解決策を探っています。今回の中間報告では、傾斜地でも楽に動かせる電動機付作業用一輪車、茶の日よけ布を自動でかぶせたり回収したりする機械、立ったまま高菜を収穫できる器具、畑で人が倒れた場合に自動で通知する装置などが紹介されました。今後は完成に向けて、さらにはメーカーなどと連携し商品化に向けた協議も行うことになっています。



みなさんの夢を支援します

キャリアサポートセンター長 准教授 藤原 孝造

“学生一人ひとりに寄り添うサポート”これが私たちキャリアサポートセンターの基本姿勢です。学生の皆さんの社会人としての活躍の舞台を決めるもの。それが「就職活動」です。

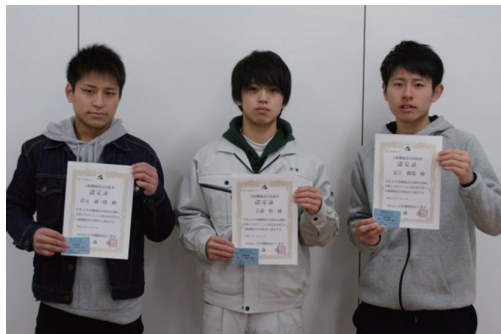
その就職活動をバックアップし内定を獲得するため、進路相談から細かい実践的指導までを行っています。また求人情報をはじめ、就職活動に役立つ各種セミナー、企業説明会も実施しています。「就職に強い大学」「高い内定率」が実現できているのは手厚いサポート体制があるからこそ。毎年先輩方が多くの一流企業からの内定を勝ち取り、社会人として活躍しています。私たちと一緒に「就職活動」を成功させ夢を実現させましょう。



機械設計技術者試験 3 級合格！

機械システム工学科 4 年 立道 悟（長崎北高等学校卒）

私は平成28年度の機械設計技術者試験3級に合格しました。この資格試験では大学1年から3年までの講義で学んだ幅広い知識に加え、より専門的な内容も出題されるため特別ゼミ以外での個人の勉強がとても重要になってきます。対策としては過去に出題された問題を何度も繰り返して解き、分からないところがあれば講義で使ってきた教材を調べたり、各分野の先生方に教えていただきました。この資格は大学で学んだ知識を試験に活かすことが出来る意味のあるものだと思いますし、自分のことをアピールする貴重な材料になりました。



情報セキュリティマネジメント試験合格

情報ネットワーク工学科 3年 永野 達也

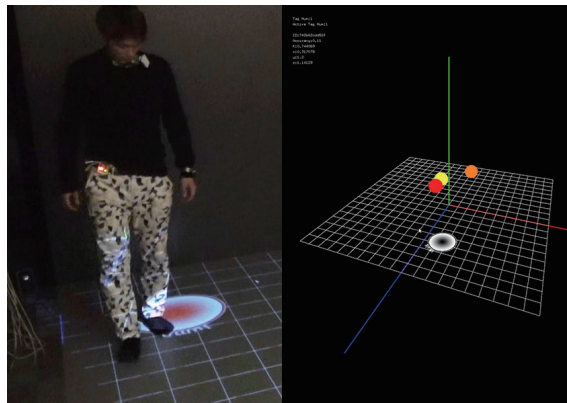
情報セキュリティマネジメント試験は、昨年度から始まった新しい国家資格です。大学が資格取得を支援している対策の中で、私が情報セキュリティマネジメント試験に合格するために最も効果があったと思うものに Picture が開催している IT パスポート塾があります。IT パスポートは 情報セキュリティマネジメント試験の下位の資格に当たるものですが、情報系の勉強の基礎 IT パスポートを受験することで身に付ける事ができます。また、IT パスポート塾では基本情報技術者試験の合格実績がある先輩に教えてもらえるため、わからないことがあればいつでも気軽に聞くことができます。1～4 年まで塾を受けている生徒がいるので、情報系の資格が取りたいけれどどんな勉強をすればいいかわからないという方にオススメの資格支援対策です。



行動検出と情報投影を同時に行う次世代型情報提示システムの構築

情報ネットワーク工学科 教授 千田 陽介 / 講師 工藤 達郎

本研究では、人にセンサを持たせて「今、何をしているのか」を計測する技術（IoT）といくら動いてもその人の足元に映像がおいけて投影する技術（動的プロジェクションマッピング）を融合するシステムを開発することで、何か新しい応用が生まれなにか検討しています。システムは人が「今何をしているのか」を計測し、「次に何をしようとしているのか、どういう情報が欲しいのか」を推定し、足元にそれを提示します。よりユーザにダイレクトに情報が伝わる教材の開発、高齢者向け介護・福祉領域への応用、さらにエンターテインメント・アート作品などのコンテンツ領域での活躍を視野に入れて開発を進めています。



コンピュータシミュレーションによる物理教材開発

教育創造工学科 准教授 野田 常雄

物理学では、数式を用い物体の運動を説明することで運動を理解しようとします。しかし、実際の運動との比較を行うには、運動がイメージしづらく、そう簡単なことではありません。実験を繰り返して行うことが、イメージ作りには効果的ですが、限られた環境の中では難しいことも多いです。

そこで、数式から作られる運動を再現する数値シミュレーションによる物理教材について研究しています。昨年度の卒業研究では、有名な落下運動の問題であるモンキーハンティングを再現したシミュレーション教材を作成し、その効果を測定しました。この研究成果を学生の廣岡さんが学会（物理教育学会九州支部会）で発表したところ、優秀発表賞を受賞しました。



基幹教育センター

基幹教育センター長 特任教授 巨海 玄道

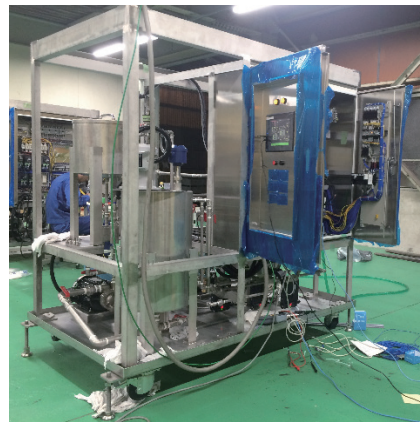
平成28年度からオープンした基幹教育センターでは、大学の授業についていけない不安な学生をサポートしています。大学では、サークルやバイトなど、多くのことに挑戦したいと考えていると思います。それと同時に、学業も疎かにならないよう、授業中に聞けなかった質問などを個別に受け付けています。どんな小さな質問でも、毎日受け付けているので、まず迷ったら、困ったら、友達も誘って基幹教育センターに来てみてください。久工大での学生生活をサポートしています。



実販売装置への取り組み

機械システム工学科 准教授 高山 敦好

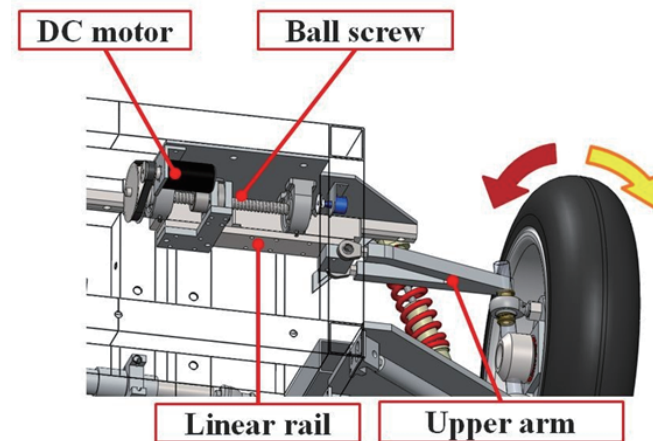
本研究室では、化石燃料の燃焼による排気ガス低減手法の開発を行っています。その一環として、燃料と水を混合させる水エマルジョン燃料生成装置の開発に成功しました。従来は、この手法に対し深く学術的に調査・研究することが大学の研究となりえますが、その延長線である実販売装置の設計、製作にみごと取り組むことができました。3DCAD による設計や装置の製作を経験でき、研究室一丸となって取り組むことができました。特に、図面では見えなかった製作時の寸法誤差に苦労しましたが、良い経験となりました。



自動車のコーナリング限界での横滑りコントロール

交通機械工学科 講師 吉野 貴彦

近年、自動車の駆動源だけに留まらず各種走行装置の電動化の方向が加速しています。完全な電動化が達成されることが期待されます。例えば、電気自動車では、全輪を電磁的なアクチュエータで独立に舵角制御を行ったり、アクチュエータでタイヤのキャンバ角を大きな舵角で制御することも機構上容易にできるようになります。そこで現在研究を行っているのが、電気自動車でのタイヤ姿勢角制御により、コーナリング限界領域での横滑りをコントロールするシステムです。旋回限界領域での車両運動性能が高く、事故回避能力が高い走行安定性技術の実現に向けて研究を進めています。



タイヤのキャンバ角制御

広川町の空き家活用プロジェクト

建築・設備工学科 准教授 成田 聖

平成29年度から、広川町で空き家を活用した「お試し居住事業」がスタートします。広川町の目立ち始めた空き家対策と、高齢化が進む地域への若い世代の定住を促すためのプロジェクトです。このプロジェクトに建築・設備工学科の成田研究室と1年生の希望者によるグループが関わっていくことになりました。地域の実情や特性の把握、空き家のリノベーションの在り方や提言など、考えていくべきことはたくさんあります。1年生にとっては学ぶ場であると同時に、自分たち若い世代のアイデアを社会に発信するチャンスでもあります。全国で増え続ける空き家の「今後の活用とリノベの在り方」を模索してゆけるプロジェクトとなればと思っています。

